

contents

- ・ 明治維新と県病院創設；それからの150年
- ・ 地域連携研修会の報告と次回予告

ご挨拶



山梨県立中央病院機構
理事長
東京大学名誉教授

小 俣 政 男

明治維新と県病院創設；
それからの150年

山梨県における近代病院の成立は、明治初期の日本の医療史においても非常に早い段階で動きがありました。

1871年（明治4）の廃藩置県を経て、各地の旧藩医学館などを引き継ぐ形で病院が整備され、当時の記録によれば、1873年（明治6年）末の時点で、全国に約20～30箇所の官立・県立病院が存在していたとされています。

山梨県病院（現：山梨県立中央病院）の設立

山梨県では、明治維新から数年後の1876年（明治9年）5月29日、甲府錦町（現在の甲府市中央付近）に「山梨県病院」として開院したのが始まりです。従って、山梨県立中央病院は本邦でも最も古い病院群の一つに数えられます。

歴史的変遷

その後、1916年（大正5年）に新築（90床）、1945年（昭和20年）の甲府空襲により一度焼失し、戦後は「山梨医学研究所附属病院（通称：医研）」と呼ばれた時期を経て、現在の「山梨県立中央病院」となりました。

150周年という節目

2026年5月現在、この病院は創立150周年という歴史的な大きな節目を迎えています。

山梨県立中央病院は、かつての多くの公立病院が大学附属病院へと移管されていった中で、一貫して「県立」としてのアイデンティティを守り、地域の基幹病院であり続けております。

この、歴史的背景を有する病院が、地域中核病院として機能するなかで、2010年、病院の経営基盤が脆弱化しました。即ち、病院建築に伴う長期借入金400億と経年の累積赤字152億を契機として、2010年独立法人化しました。

その後、16年を経過した2026年3月末現在、長期借入金は244億減少し156億円となり、また累積赤字は消失し、156億の内部留保金が生まれるなど経営基盤の安定化がなとげられました。

これもひとえに、県当局のサポートと、法人化当初750名、現在1,500名の職員の方々の並々ならぬ日々の努力の賜物であり、深く感謝しております。

本年4月、マッチング数も全国三位となる26名の初期研修医を迎え、当病院の35歳未満の若手スタッフの比率は65%と、全国有数の“若い”病院と言えます。

今後、この若い病院は中核病院として150年培った“アイデンティティ”を次の150年も継承し、救命救急センター・母子周産期センター、およびゲノム・がん都道府県拠点病院を有する“最後の砦”として、機能していくと考えております。

みなさまの、今までにも増しての、ご支援お願いいたします。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

新任医師の紹介

Introduction of new doctors

2026年度より46人の医師が赴任し、外来を担当します。この場を借りて紹介させていただきます。

**循環器内科 渡邊 和徳**

今年度より山梨県立中央病院へ赴任いたしました、渡邊和徳と申します。山梨県の循環器診療に少しでも貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

**循環器内科 矢崎 麻由**

今まで他県で循環器内科医として勤務してきましたが、本年度より山梨県立中央病院で働かせていただくことになりました。専門は心不全です。よろしくお願いいたします。

**循環器内科 山本 大貴**

山梨県立中央病院循環器内科専攻医1年目として勤務しております。地域の皆様に信頼される医療を目指し、日々研鑽を積んでまいります。

**循環器内科 土橋 一真**

今年度より循環器内科で勤務する土橋一真です。当院で初期研修を終えまだまだ勉強中ですが、明るく誠実に診療に携わっていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

**循環器内科 森田 湧登**

2026年4月より当院の循環器内科に所属することになりました。木曜の外来を担当します。よろしくお願いいたします。

**呼吸器内科 本間 健太**

今年度より当院呼吸器内科に所属することになりました、本間健太と申します。月木の呼吸器内科外来を担当させていただきます。山梨県の医療に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

**呼吸器内科 浦野 恵理子**

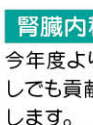
今年度より呼吸器内科で勤務致します。日々学びを大切に、丁寧な診療を心がけてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

**消化器内科 寺本 駿也**

内科専門研修の一環として1年間、消化器内科に勤務いたします。生まれ育った山梨の医療に貢献できるよう研鑽を積んでまいります。

**消化器内科 赤岡 大地**

今年度より消化器内科所属となりました、赤岡大地です。来院される患者様一人一人に寄り添った医療を心掛けてまいります。よろしくお願いいたします。

**腎臓内科 渡邊 美佳**

今年度より赴任いたしました渡邊美佳と申します。山梨県の地域医療に少しでも貢献できるように精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**腎臓内科 渡邊 七海**

今年度から着任しました。「人を幸せにできる医師」を目指し、患者様に寄り添い、日々学習を続け、より良い医療を提供できるよう努めます。よろしくお願いいたします。

**腎臓内科 鷹野 真登**

今年度4月より腎臓内科で勤務させていただきます鷹野真登と申します。患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

**糖尿病内分泌科 木下 皓貴**

今年度から糖尿病内分泌内科で勤務させていただく木下です。常に前(上)向きに、診療を通じて地域の患者様の生活に良い影響を与えられるように頑張りたいと思います。

**血液内科 浅見 公美子**

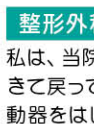
今年から総合診療科に赴任しました浅見公美子と申します。たくさん学んで地域医療に還元できるよう精進しますので、よろしくお願いいたします。

**神経内科 進藤 淳彦**

今年度より神経内科の常勤として赴任致しました。生まれ育ったこの地で、脳神経疾患の診療に貢献できるよう一つひとつ頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

**胃食道外科 峯平 紗耶香**

今年度より消化器外科に赴任した峯平紗耶香と申します。山梨県の地域医療に貢献できるように努めてまいりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

**整形外科 原田 薫**

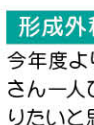
私は、当院で初期研修を含め5年間勤務したのち、県外にて6年間修業してきて戻ってまいりました。特に外傷や災害医療を専門としておりますが、運動器をはじめとして、できる限りの分野で皆様のお力になれましたら幸いです。よろしくお願いいたします。

**整形外科 渡部 宏毅**

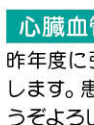
まだまだ未熟者ですが、整形外科医として山梨の医療に貢献できるよう日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

**整形外科 久保川 将志**

今年度より県立中央病院へ赴任しました、久保川将志です。山梨県の医療に貢献できるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。

**形成外科 井上 由理**

今年度より形成外科で勤務させていただきます井上由理と申します。患者さん一人ひとりに寄り添い、良い医療を提供できるように日々努力し頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

**心臓血管外科 大澤 いくみ**

昨年度に引き続き心臓血管外科で勤務させていただきます大澤いくみと申します。患者様に寄り添った医療を提供できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**泌尿器科 鈴木 寛**

山梨県の泌尿器科診療に貢献できるよう精進します。よろしくお願いいたします。

**泌尿器科 石塚 貴大**

信州大学医学部付属病院より赴任しました。長野県松本市出身です。山梨県の気候に不安を感じていますが、暑さに負けずに丁寧な診療を心がけてまいります。

**眼科 宇都宮 健吾**

本年度より山梨県立中央病院眼科に赴任いたしました。まだまだ未熟な眼科医ですが、日々研鑽を重ね診療に努めております。どうぞよろしくお願いいたします。

**耳鼻咽喉科 堀内 辰也**

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の堀内辰也と申します。患者様一人一人に寄り添いながら診療を行わせていただきます。よろしくお願いいたします。

**皮膚科 鶴田 実奈**

本年度より赴任しました鶴田実奈と申します。患者様に寄り添った医療を提供できるよう日々努めます。1年間よろしくお願いいたします。

**婦人科 深田 直希**

今年度より山梨県立中央病院婦人科に赴任しました深田直希と申します。山梨県の婦人科診療に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

婦人科 平岡 望

今年度より婦人科へ赴任しました。患者さんに寄り添った医療を提供できるよう研鑽してまいりますのでよろしくお願いいたします。

**婦人科 古荘 雄一郎**

本年度より県立中央病院産婦人科として赴任しました、古荘雄一郎と申します。山梨県の産婦人科医療に貢献できるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

**産婦人科 鈴木 秀明**

今年度より産婦人科に所属しました、鈴木秀明と申します。周産期医療と婦人科診療の両面から地域に貢献できるよう努めます。よろしくお願いいたします。

産婦人科 石澤 満優子

2年間の初期臨床研修でお世話になり、3年ぶりに戻ってまいりました。患者様に寄り添った医療を心がけ、精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

**新生児内科 早野 暉平**

本年度より小児科専攻医として研修する事になりました、早野暉平です。お子さんとご家族の笑顔のために日々精進していきます。よろしくお願いいたします。

**新生児内科 荻原 悟史**

本年度より山梨県立中央病院新生児内科に赴任した荻原悟史と申します。山梨県の周産期医療に貢献できるよう日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

**小児科 吉沢 雅史**

約10年ぶりに赴任させていただくことになりました。大学病院で長く循環器を専門に診療した経験を基に、当院でも引き続き、山梨の子どもたちのため、尽力してまいりたいと思います。

**小児科 小林 奈々**

本年度より小児科に赴任いたしました小林奈々と申します。お子さんやご家族に寄り添った医療を提供できるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。

**小児科 長井 陽汰**

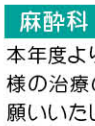
本年度より小児科に赴任しました専攻医の長井陽汰と申します。お子さんたちをサポートするため日々精進してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

**小児科 永瀬 晶**

本年度より小児科に所属となりました永瀬晶と申します。子どもとご家族に寄り添った診療を心がけ、日々学びながらより良い診療に努めます。

**麻酔科 服部 隼佑**

前年度7月より赴任しました麻酔科の服部隼佑です。安心して手術を受けられるよう、手術室スタッフと協力し周術期の安全管理に努めていきます。よろしくお願いいたします。

**麻酔科 森 隆史**

本年度より、山梨県立中央病院でお世話になります、森隆史と申します。皆様の治療の一助となるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

放射線診断科 山本 琢水

本年度より山梨県立中央病院に着任いたしました。2004年山梨医科大学卒。迅速で質の高い画像診断を提供し、地域医療に尽力する所存です。

**放射線診断科 井伊 孝徳**

2026年4月からも引き続き、CT、MRI、核医学での診断業務を行います。病院全体の医療の質向上に貢献できるよう頑張ります。

**高度救急科・地域救急科 吉田 恭義**

山梨県の医療に少しでも貢献できるように頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

**高度救急科・地域救急科 秋吉 祐希**

本年度就職しました秋吉祐希です。山梨県立中央病院ではドクターヘリやカーでの病院前診療含む完結型救急を経験し、少しでも山梨県の医療に貢献出来るように努力致します。よろしくお願いいたします。

**高度救急科・地域救急科 菅野 朋子**

プレホスピタル や初療、IVR、集中治療管理など含めた重症外傷診療の一連の流れを実践的に積みたいと思い、半年間の研修を希望いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

**高度救急科・地域救急科 小山 光眞**

4月より県立中央病院の救命救急センターに配属されました、小山光眞と申します。地域の救急医療に貢献できるように精進いたしますのでよろしくお願いいたします。

**高度救急科・地域救急科 山本 豊明**

4月から半年間、山梨県立中央病院で勤務させていただきます。研鑽中の身ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

地域連携研修会が開催されました

2.16 MON

「すぐに使えるてんかん診療の知識」



山梨県立中央病院 小児科医長 深尾 俊宣 医師

てんかんは、脳の神経細胞が過剰に興奮して「てんかん発作」を繰り返す病気で、およそ100人に1人が発症する比較的多い病気です。発作をきっかけとして救急受診されることが多いため、神経系を専門とする医師が対応できるとは限りません。初期対応の段階で適切な指導を行うことが、患者さんの不安を軽減するために重要と考え、本講演を行いました。具体的には、発作が生じやすい状況や発作が生じると危険な状況避けること、発作が生じたらどのように対応すればいいか、をお伝えしておくことが望ましいです。不明点がありましたら、遠慮なく神経系の専門医に相談することも大切です。

3.25 WED

「次世代ハイブリッドER:Y-HEROS運用開始」



山梨県立中央病院 高度救命救急センター統括部長 岩瀬 史明 医師

当高度救命救急センターは、この度、重症救急患者に対する診療の質とスピードを最大化することを目的に、新たに Hybrid Emergency Room System (HERS) を中核としたハイブリッドER「Y-HEROS (Yamanashi Hybrid Emergency Radiology and Operation Systems)」を整備しました。本システムは、従来の外傷診療に特化したハイブリッドERの枠を超え、外因性・内因性を問わず、あらゆる重症救急疾患に対応する次世代型初療プラットフォームです。ハイブリッドER導入後、当センターではCT撮影開始時間や止血・治療開始までの時間短縮、患者移動減少による医療安全性の向上など、診療プロセスの改善を認めています。

今後もY-HEROSを基盤として、外因性・内因性救急を融合した診療モデルの確立、診療実績の検証とエビデンス創出、さらに人材育成と地域連携の強化を進め、地域および広域救急医療の中核としての役割を担っていきます。

「診療における「生成AI」活用の最前線

～患者満足度の向上と医療安全・業務効率化の同時実現を目指して～」

4.24 FRI



山梨県立中央病院 婦人科部長 兼 手術診療統括副部長 坂本 育子 医師

医療現場におけるAIを用いた業務負担の軽減、業務効率化についてご講演いただきました。目覚ましく進化するAIの活用方法や今後の展望について考える機会となりました。坂本医師を筆頭に益々力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

次回研修会

Web研修会

Zoomでの開催

日時: 6月16日(火)
18:30~19:30

地域で支える
排尿ケア

～当院排尿ケアチームの
役割～

山梨県立中央病院

泌尿器科

鈴木 寛
医師

池田 敬子
主任看護師

河住 絢香
主任看護師

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、
かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらって
ください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)

MRI検査(放射線診断科)の予約について

下記をご確認の上、ご予約をお願いいたします。

体内金属の有無についてご確認いただき、診療情報提供書に記載をお願いいたします。

「MRI対応ペースメーカー」が留置されている患者様は、適応判断のため検査前に当院ペースメーカー外来(循環器内科)の受診が必要になります。



詳細は当院ホームページ(QRコード)をご確認ください。

当連携だよりは、再生可能電力(CO2排出排出ゼロ電力)で印刷されています。

